

P L U S

ローランド ピアノプラス
PIANO PLUS CONCEPT BOOK



ピアノプラスは、新しいピアノです。

初心者、ウェルカム。最近電子技術によって、誰にでもごく簡単にピアノ演奏が楽しめるようになりました。上級者、ご満足。高度な演奏テクニックに合わせてシステムアップできるのです。それからこのコンパクトなスタイリング。アコースティックピアノの弱点をすべてクリアしました。さすがススンで。いや、こうしたピアノを創り出そうとする発想こそ、いちばん新しいのかもしれないね。



進んでいるから、軽い。

いつの時代も、進んでいるものには、軽みが漂っている。今、最もススんでいる映画監督の森田芳光いわく「たとえどんなに重いテーマでも軽く表現できないと取り残されてしまう。もう時代はさぶ濡れのズック靴のように、決して重くならないよ」。どうですか、このアッパレなライト派宣言。軽いものがすべて進んでいるのではなくて、進んでいるものはライト感覚にあふれていて、広く世に受け容れられる——と、ROLANDは、かように熟考するのであります。

Mr. ライトヴォイス、サム・クック。

50年代から60年初頭にかけて、ユー・センドミ、ワンダフル・ワールド、キューピッド、オンリー・シックスティーンなどのヒット曲をしばし続けた、このハンサムな黒人ソウルシンガーの懐しいナンバーが、今、巷で静かなブームを呼んでいる。カフェバーや潇洒なバーなどで、ニューモダンなスタイルカウンスルやハワード・ジョーンズあたりに混じって、乾いた風のような快い彼の歌声を耳にしたことのある人も少なくないはず。サム・クックのナンバーがこれほどウケているのは、他の汗まみれ絶叫タイプのソウルシンガーとは違った、まさにライトな感覚が彼の歌の中に漂っているからでしょう。軽やかさは、爽やかさ。ポップ性に富んだMr. ライトヴォイス、サム・クックの魅力をそのまま楽器におき換えたのが、ピアノプラス。どうりでどちらもキュートなスタイルです。

進んだレディ御用達、 「ドントメッド」

デザイナー、スタイリストといった横文字職業の進んだレディ達の間で、もうかなり以前から、ひそかに愛用されているのが西ドイツ製の練歯みがき「ドントメッド」。本国では親子代々ドントメッド以外では歯を磨いたことがない由々しき家庭もあるとかで、知る人ぞ知る、つて感じの小粋なステータス品なのです。成分は何とアルコール。



スリムボディの、スイートパワー。

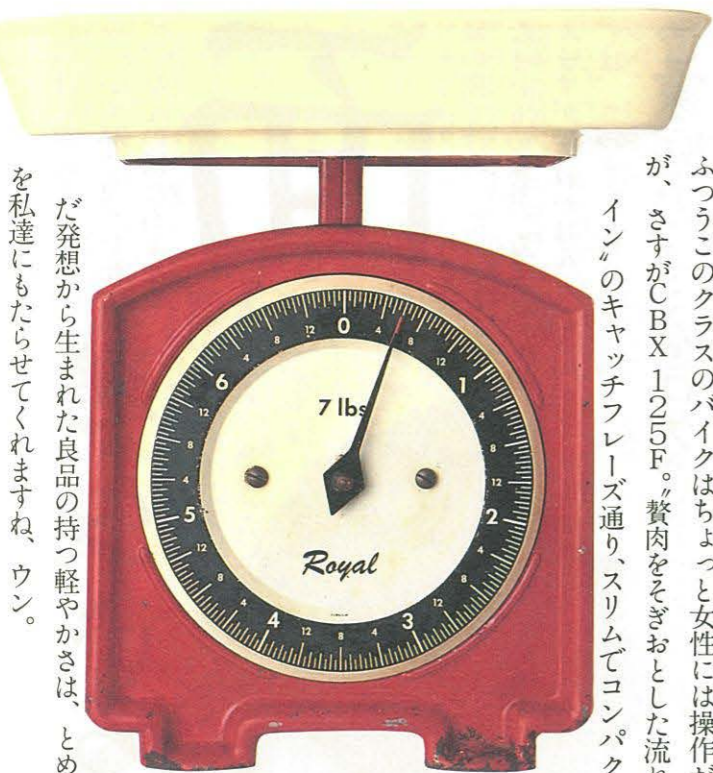
進んでますねえ。当然甘味添加物一切なしのドライ派、口全体が浄化され、スッキリ爽快な使用感をえられるのが人気の原因のようです。しかも一回の使用量が歯ブラシの3分の1程度で充分なので、ワンチューブわずか64gの軽さ。ピアノプラスもそうだけど、性能が優れているから軽くなれるという見本です。このスグレ品、輸入雑貨店にて¥600前後でお求めになれます。



乳白色の朝もやの中、軽いエンジン音を響かせながら海岸通りを疾走する時の、無上の快感/気の合う仲間やイトシキ人と、この快感を分かちあえるのが、ツリーリングのダイゴ味。今、進んでる夫婦の進んでる週末の過ぎ

し方はツリーリング、といわれる位に人気のレジャーとなっています。きっとハートウォーミングな世界にひたれるところがいいのですね。そんなワケで最近急増中の女性ライダーにお勧めのバイクを一台。HONDA CBX 125Fがそれ。

ふつうこのクラスのバイクはちよつと女性には操作がやっかいなのですが、さすがCBX 125F。贅肉をそぞおとした流れるようなボディラインのキャッチフレース通り、スリムでコンパクトな車体構成で、成熟したスイートな



が発想から生まれた良品の持つ軽やかさは、とめどなく爽快な気分を私達にもたらせてくれますね、ウン。

熟したスイートなパワーも兼ね備えています。なにやらピアノプラスを彷彿させますね。どうりでハートウォーミングな世界がよく似合うと思いました。なるほど。ピアノプラスのように、進ん



ピアノプラス20 ¥55,000 わずか6.6kgの超ライト、軽い軽いで、時代を先取り、場所を選ばぬ、行動派。

いちばん進んでいるものを、いち早く見つけ出して、なんの屈たくもなく

進んでいるから、

面

面白がる、こんな感性はティーン・エイジャーだけの特権か
と思いきや、当今ではユーザーの感性もなかなかのものよ
うです。今、アメリカ

の若い主婦の間で流行っているものに、なまけもの家具、なるものがあります。これがほんとに面白い。では、さっそくご紹介を――。

ご家庭のゴミをロケットで発射。

伸縮自在、全方向に回転自由な電気スタンドだとか、見ながら痩せるペダル式自家発電テレビなど、珍奇な家具の創作でセンセーションを巻き起こすのが大好きな異才、フィル・ガーナーの極めつけ作品がコレ。土中で自然分解する素材のカプセルにゴミをつめて、家の中からゴミ収集場所まで飛ばしてしまえるのだそう。まさに合理性とユーモアを尊ぶアメリカならではのシロモノ。日本でもこのガービジ・シュート（ゴミ射撃）と名づけられた新兵器？で、マン

ションの5階に住む奥様がベランダから、ゴミ収集場所を狙ってズドン！なんてコトになったら、さぞかし大したなまけ者になることでしょうね。でもとっても楽しそうです。楽しくなくては生きていく資格がない、とピアノプラスも常々つぶやいているそうですよ。だからガービジ・シュートみたいなものも、もちろんあっていい、と思うのであります。

白

髪に栄養とヘアクリップ

髪にヘアクリップをつける、という変わったヘアスタイルが、青山、原宿、代官山あたりに出現しました。7〜8cmはあろうかという、白やブルーのクリップを髪に1、2個はさみこむのです。別

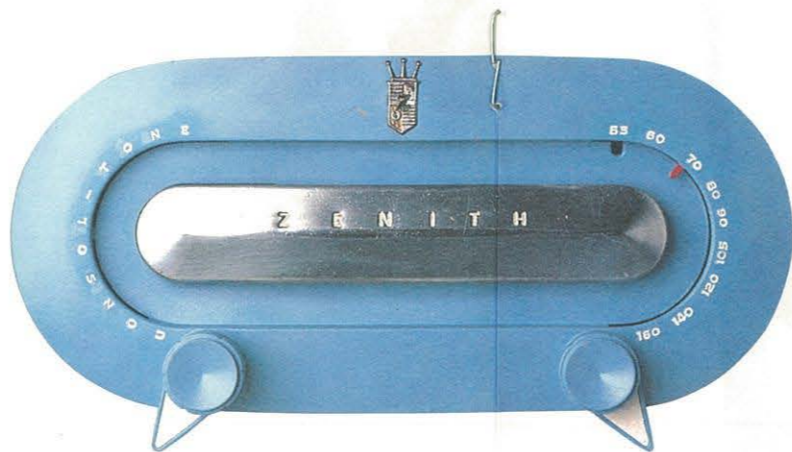
段理由もなくそうするところがイカスとか。胸や襟元につけて、ブローチに利用する方法も人気だそうですよ。いずれにしろ、肩ひじを張らずフランクな気分でないとい、進んでいる面白いものには、出逢えなさそうです。というわけで、整然としたたずまいのクラシック音楽を、ななめ聴き？で面白がる方法をおひとつ。それは



本来の音楽を少しだけ離れて、有名無名の作曲家たちの日常の面白エピソードを垣間見てみよう、というものです。

弟よ、人生でいちばん大切なものは……。

ベートーベン彼の弟、ヨハンは晩年金回りがよくなって小さいながらも土地の所有者となり、兄のもとに次のような名刺を送りつけた。「ヨハン・ヴァン・ベートーベン、土地所有者」すると兄から返事がきて、その末尾にはこういう署名がついていた。「ルート・ヴァン・ベートーベン、頭脳所有者」。ニコロ・パガニーニ、イタリアのヴァイオリンの名手パガニーニは、けちで有名だった。今をときめく美貌の歌姫がパガニーニとの結婚にやぶさかでないという噂を伝え聞いているには、なに、結婚？わしのヴァイオリンをただで聞こうというのだろう――。こういう感じの音楽家の変わったエピソードでも、さりげなく話してできれば、進んだ人、と尊敬されるかもしれないよ。ところで、ピアノプラスも面白い。どう面白いかといえば、これが実に弾けば弾くほど面白いのであります。まずは、実際にお試しください、ね。



進んでいるから、

楽しい。

進んでいるものが楽しい
ワケは、進んでいるもの
がさまざまな神秘的な謎
を持っているからでしょ
うね。ピアノプラスが、
ピアノなのに何故調律す
る必要がないのか、なん
てのもちよつと謎めいて
いませんか。機会あれば
名探偵ポアロにでもこの「謎」を解き明かして
もらいましょう。ところであまり目立たな
いけれど、不思議な構造をしたゲーム感覚のインテリアグ
ッズのこと、ご存知ですか？

現代は、あけてビックリ、からくり箱。



開け方の奇抜さと難しさゆえに、パズ
ル解きのような楽しさがいつぱいの、
からくり箱。寄木細工の秘密箱の変形
だけれど、秘密箱のように一定順序で
板をずらしさえすれば開くものではないところ
が、何ともニクイ。ころがさないと開かないものもあつたりと、意外な方法で開いた
りするところが、とても楽しいワケです。またこれはインテリアグ
ッズとしても実に存在感があるのです。木の材質を活かし
たシンプルな表情、高度な木工技術に裏打ちされた、
さりげない美しさが心を安げてくれます。そう、
これは組み木パズルの「進化品」なのです。
進んでいるから魅力も多彩。ピアノの進化
品、ピアノプラスの傍に飾って、ためつす
がめつ眺めてみれば、湧き出るメロディー泉のごとく、なんて具合にみず
みずしい、奔放なイメージを刺激してくれそうな、マジック・ボックス
を一家におひとつ、ドーズ。



シンクロナイズド・スイミングを撮る。



華麗な水の精のような肉体造形美で、多くのファンを
獲得しはじめたシンクロナイズド・スイミング。リズ
ミカルなメロディーに乗って、はげしく優しく舞う数
分間のファンタスティック・ドラマ。その典雅な一瞬
一瞬をただ観ているだけでは勿体ないと、当世楽しみ進歩
人はプールサイドにカメラを持ち込むのであります。ソロ、
デュエット、チームの三種目を競うシンクロの、撮影ポイント
次の二点。すなわち、選手の表現したい演技アクションを選手の
気持になり切ってキャッチすること、あまり細かいことを考えずにリズムに乗っ
てバシバシ撮っていくこと。ソロの場合は水中から浮かび上がって、連続的な動き
が水上で静止する瞬間がシャッター・チャンス。デュエットの場合は二人のコンビ
ネーションの妙がテーマなので、あらかじめ演技内容を一度見て
おいて、狙う一瞬を決めておく方がいい。チーム競技は人数が多い
ので観覧席の最上階に陣取って見おろすように撮りたい。とまあ、
それぞれにコツはあるものの基本はやはり前記のふたつ。これはまた
ピアノ演奏に際しても同様なことがいえそうですよ。タッチなんてこと
をあまり深く考えず、身体の奥でうごめくビート感を頼りに、ドンドン弾
き進むこと、その方がよっぽど楽しいし、音楽してる気分になれるはず！
アユー、ALL RIGHT?

最も進歩的でリッチなパフォーマー。

快活でセクシーでダンサブル。今やハリウッドきつての貴重な財産、というよ
りもカール・ルイスと並んで世界のスーパースターNo.1となったマイケル・ジャ
クソン。1958年8月29日、インディアナ州ゲーリー生まれの、この最も進歩
的なパフォーマーの偉業を、具体的数値に換算してみると一体どうなるか。レコー
ドの売り上げだけをとり出してみてもその凄まじさが証明されます。ジャクソ
ン5時代からの通算で1億枚以上のレコードセールスを記録、そのすべての
アルバムを縦に積み上げると何と40kmにもなるというからスケールのほどが知れ
ようというものです。また1984年の第26回グラミー賞では8部門を独占という
快挙、これは1970年、サイモン&ガーファングルの7部門を抜いた、まさにエ
ポックメイキングな新記録でありました。ピアノプラスだって、グラミー賞を独占
しかねないくらい、新しい面白さにあふれているのです。ボクも妹もお父さん
もお兄さんも、みんなピアノプラスを弾くのは楽しくて仕方がないって感じです。



リズムにのって自動伴奏。ハイ・テク演奏。楽しすぎてハート鳴り出す快楽派。ピアノプラス11 ¥99,000

進んでいいるから、

急テンポで進化していく音楽やファッションや科学技術などと同じように、

住まいやそのインテリアにもニューウェイブとよぶべきものが押し寄せています。というわけで、最近の住まい設計傾向や、インテリアグッズの中に見られる、新・愛されるモノ、のご紹介をいざ。

ハーブのある暮らし。

あてやかな色と、強いけれどすがすがしい香りを持つハーブ。田畑などなくても、ベランダのほんの小スペースで生育ができることもあって今、ひそかな人気です。その色香で眼と心を堪能させてくれるハーブのある暮らしは、流されゆく日常生活に爽やかな感動を残してくれる……などというより、たとえば初夏の北海道で咲き香る、あの紫色のラベンダーが自分家のベランダに引っこしてきた情景を想像ねがえれば、ハーブのある暮らしの魅力がわかるはず。あつ、ちよつといいな、ハーブのコトをもっと知りたい、と思われる方に、テキストを一冊ご紹介。広田晴子さんという方の「香りの花束」(講談社)。ハーブは食べ物の香り添えや薬用にも重宝なのでもうすぐ沢山の愛好者が生まれそうです。ピアノプラスのように。さて次は、中庭のある住まいについて。

過密都市の中のオアシス。

そもそもわが国の住まいの特徴は、室内と外が渾然一体となったような、自然なつながりも持つ庭のたたずまいにありましたが、最近の都市住宅事情が、道に面した開放的スペースを設けるのを容易には許してくれません。それならという訳で、〈中庭〉を抱きかかえるような設計の住まいに注目が集まっています。諸外国には〈中庭〉のさまざまなサンプルが存在し、たとえば南欧の回廊のあるインナースペースからフラットになっているものなどは、そっくりそのままわが国にも流用できそうです。さて、次は環境音楽のおはなし。

個に帰れる環境音楽、ドウルツティ・コラム。

美しいギターメロディーが、静かな心の動きにフィットし、快い世界が拓けてきそうな、ドウルツティ・コラムの音楽。現代音楽的な無音の冷たさが漂う、ブライアン・イーノの環境音楽とはちがって、印象的なピッキング、ギターの旋律が、そこはかない優しさをたたえています。「ドウルツティ・コラムの音楽を聴くことによって、僕は自分自身の心のスケッチをした錯覚にとらわれる。そのことが個人的になれる原因になっている」と、音楽の粹人、鈴木博文にいわしめているように、通にも愛されるドウルツティ・コラム。そんなわけで、通の人もそうでない人も、ドウルツティ・コラムとピアノプラスを一家にひとつ、ご用意ください。

愛される。

愛こそはすべて

愛といえばビートルズ。ビートルズといえば、愛こそはすべて。LP「マジカル・ミステリー・ツアー」に収録されたこの曲は、世界宇宙中継番組「OUR WORLD」のためにジョンとポールが書き下ろしたものの。フランス国家やイギリス民謡などを取り込んだ、親しみやすいメロディーで大ヒット。「ラブ・ゼネレーション」なんて流行語もこの曲から生まれました。それもこれもピアノプラスの曲から生まれました。それもこれもピアノプラスの曲から生まれた。そんなわけで、通の人もそうでない人も、ドウルツティ・コラムとピアノプラスを一家にひとつ、ご用意ください。

新しいピアノの魅力は無限大！家族みんなの指と心が、一刻も早くピアノプラスがっついていませんか。LET'S PLAY & FUN.



音大出のママにも、猫ふんじやったのボクにも誰からも愛されるコンパクトな本格派。ピアノプラス70 ¥138,000

2 U L P



Roland

ローランド株式会社

本社 ● 〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13 ☎06(681)8661
 営業所 ● 札幌 ☎011(281)0708 ● 仙台 ☎0222(25)6221 ● 大宮 ☎0486(45)7737
 ● 東京 ☎03(251)5595 ● 横浜 ☎045(313)3841 ● 松本 ☎0263(26)8853
 ● 浜松 ☎0534(37)1231 ● 名古屋 ☎052(241)4332 ● 大阪 ☎06(681)8661
 ● 広島 ☎082(247)2731 ● 福岡 ☎092(471)1481

NAM-242 1984 OCT. B-4 A-Y